

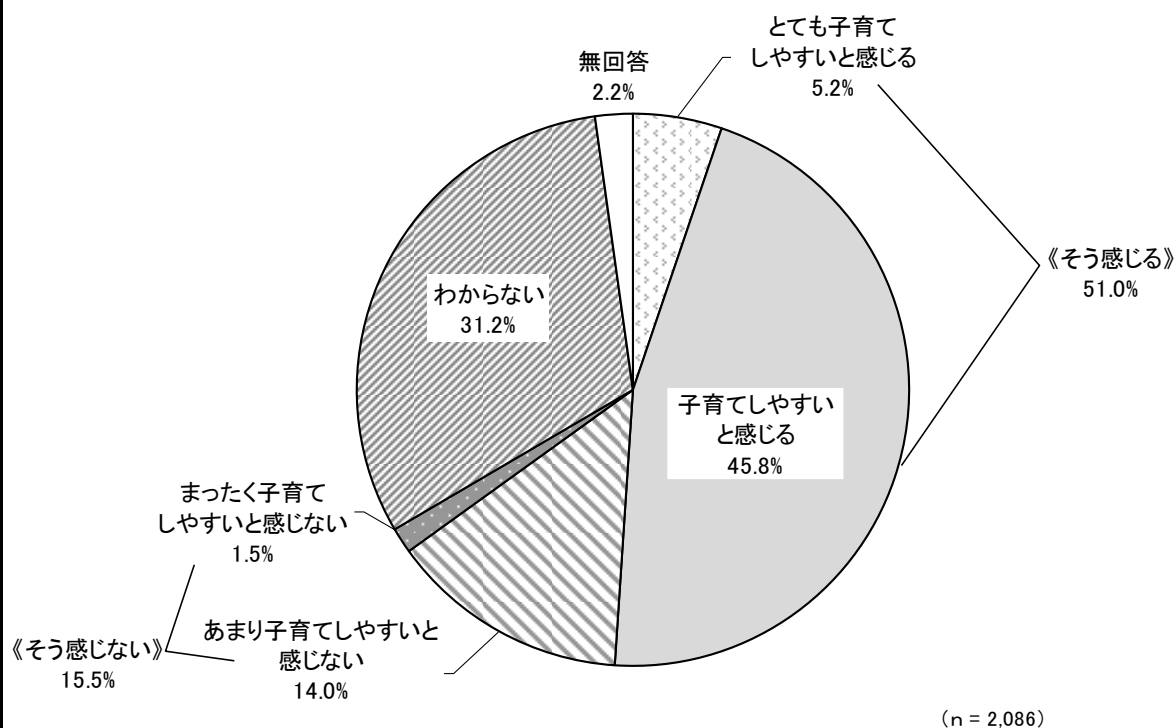
## 9. 子育て・子どもを取り巻く環境

### (1) 区の子育て環境

◎「とても子育てしやすいと感じる」と「子育てしやすいと感じる」を合わせると5割を超える

問21 あなたは、世田谷区は子育てをしやすいまちだと感じますか。(〇は1つ)

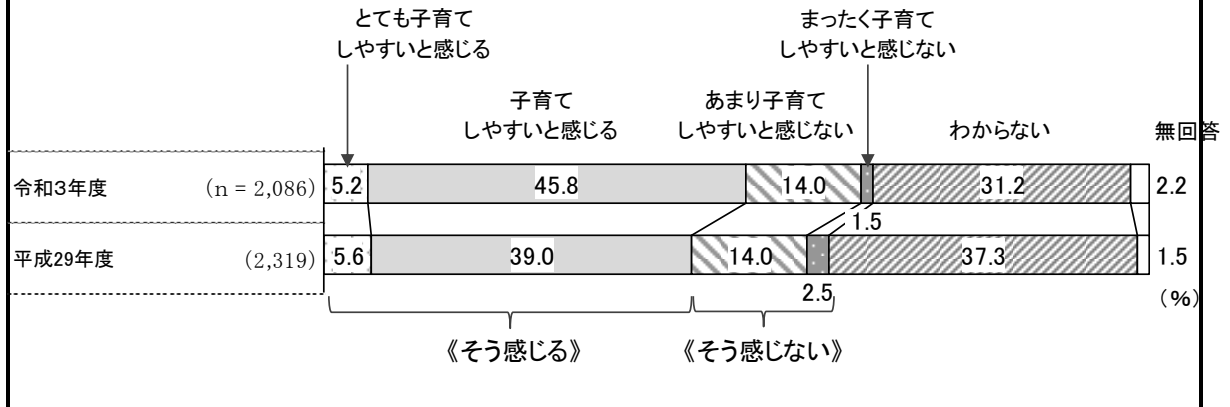
図9-1-1



#### <調査結果>

世田谷区の子育て環境について聞いたところ、「子育てしやすいと感じる」(45.8%)が4割半ば、「とても子育てしやすいと感じる」(5.2%)と合わせた《そう感じる》(51.0%)が5割を超え、「あまり子育てしやすいと感じない」(14.0%)と「まったく子育てしやすいと感じない」(1.5%)を合わせた《そう感じない》(15.5%)が1割半ばとなっている。(図9-1-1)

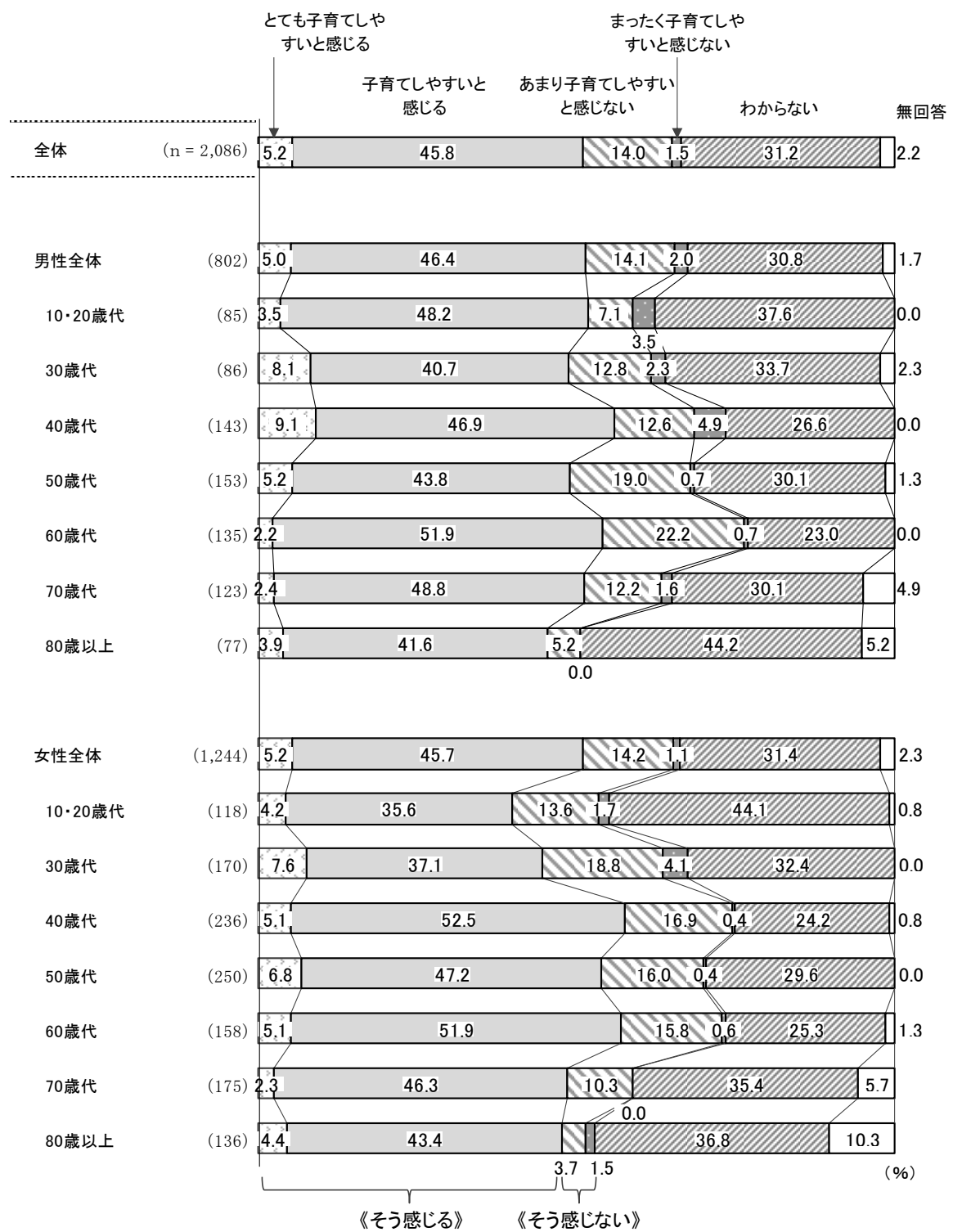
図9-1-2 区の子育て環境（時系列）



〈調査結果〉

平成29年度からの時系列の変化をみると、《そう感じる》は平成29年度（44.6%）から令和3年度（51.0%）で増加している。《そう感じない》は平成29年度（16.5%）から令和3年度（15.5%）で大きな違いはみられない。（図9-1-2）

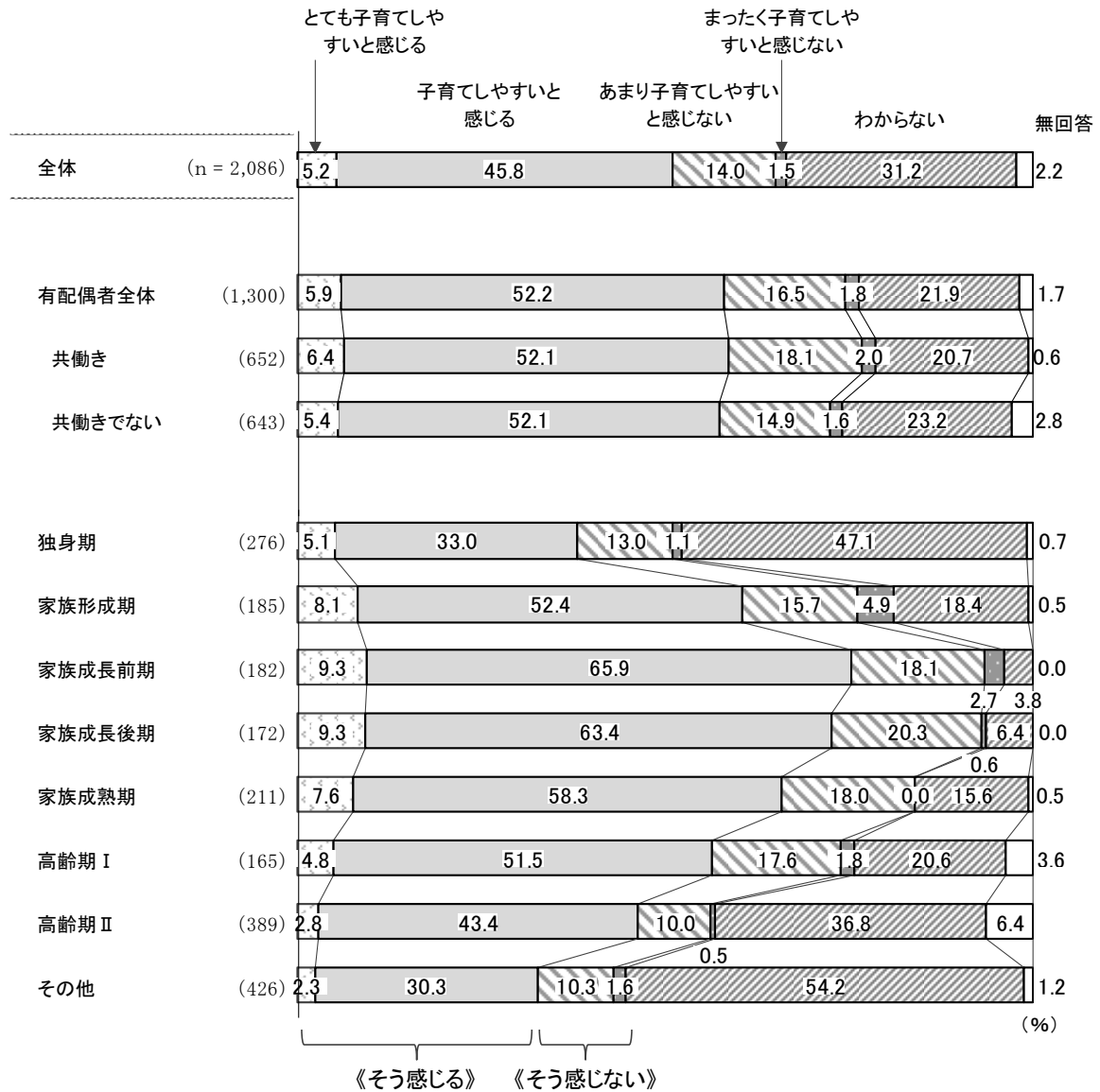
図9-1-3 区の子育て環境（性・年齢別）



〈調査結果〉

性・年齢別にみると、《そう感じる》は女性の40歳代、60歳代で6割近く、男性の40歳代、60歳代で5割半ばとなっている。《そう感じない》は男性の60歳代、女性の30歳代で2割を超えている。30歳代は《そう感じる》が男性で5割近く、女性で4割半ばとなっている。(図9-1-3)

図 9-1-4 区の子育て環境（共働きの有無別・ライフステージ別）



〈調査結果〉

共働きの有無別にみると、共働き世帯、共働きでない世帯との間で大きな傾向の違いはみられない。

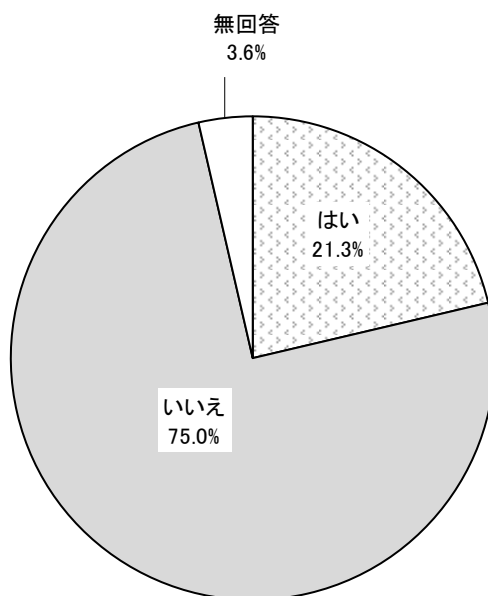
ライフステージ別にみると、《そう感じる》は家族成長前期で7割半ば、家族成長後期で7割を超えている。一方、《そう感じない》は家族形成期、家族成長前期、家族成長後期でほぼ2割となっている。(図9-1-4)

## (2) 子育てについて相談できる人の有無

◎「相談できる人がいる」が8割近く、「相談できる人がいない」がほぼ2割

問22 あなたは、18歳未満の子どもを子育て中、またはあなたご自身もしくは配偶者が妊娠中ですか。(○は1つ)

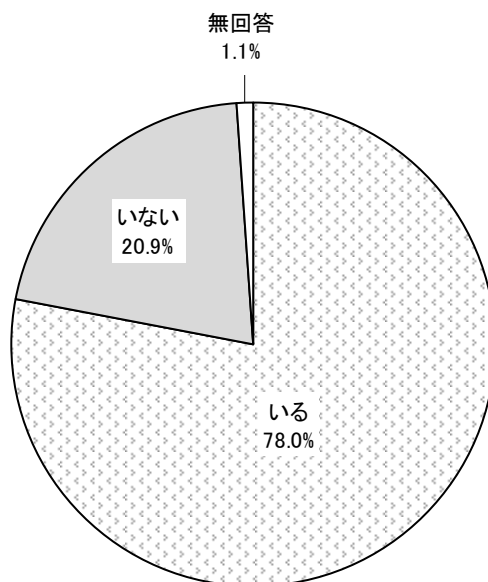
図9-2-1



(n = 2,086)

(問22で「はい」と答えた方に)

問22-1 あなたは、子育てについて相談できる人が身近な地域にいますか。(○は1つ)

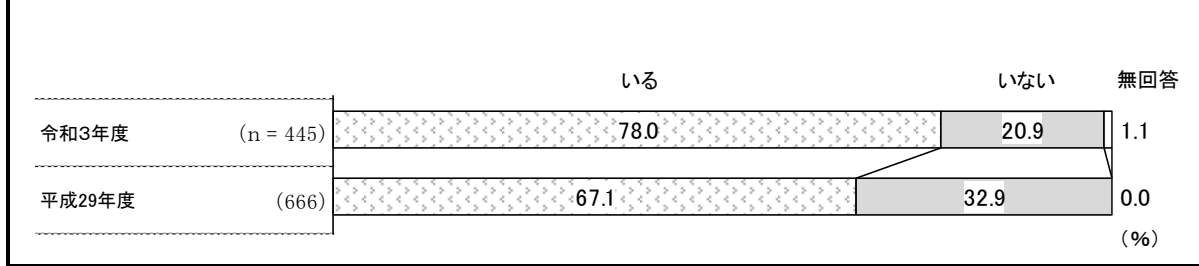


(n = 445)

### <調査結果>

18歳未満の子どもを子育て中、またはご自身もしくは配偶者が妊娠中の方(445人)に、子育てについて相談できる人の有無について聞いたところ、「いる」(78.0%)は8割近く、「いない」(20.9%)はほぼ2割となっている。(図9-2-1)

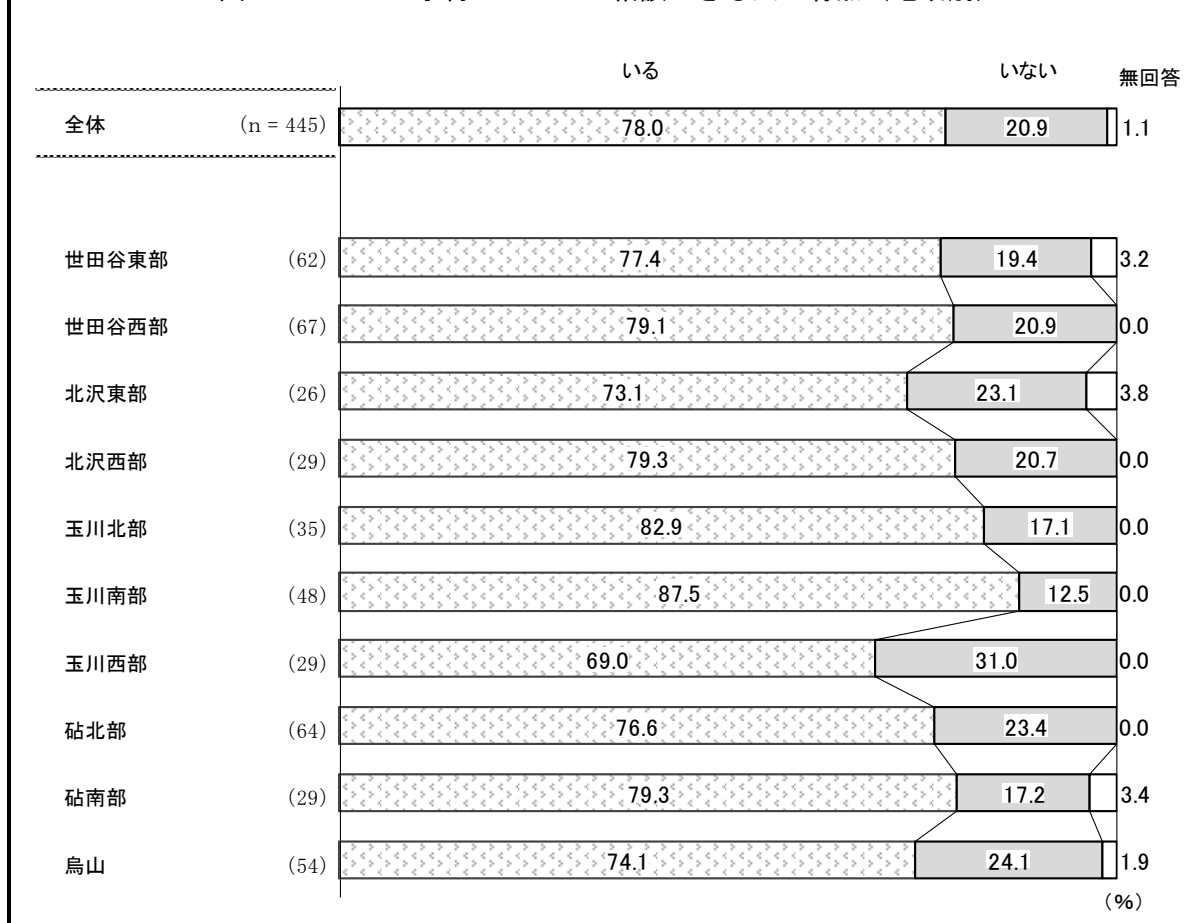
図9-2-2 子育てについて相談できる人の有無（時系列）



〈調査結果〉

平成29年度からの時系列の変化をみると、「いない」は平成29年度（32.9%）から令和3年度（20.9%）で減少している。（図9-2-2）

図9-2-3 子育てについて相談できる人の有無（地域別）



<調査結果>

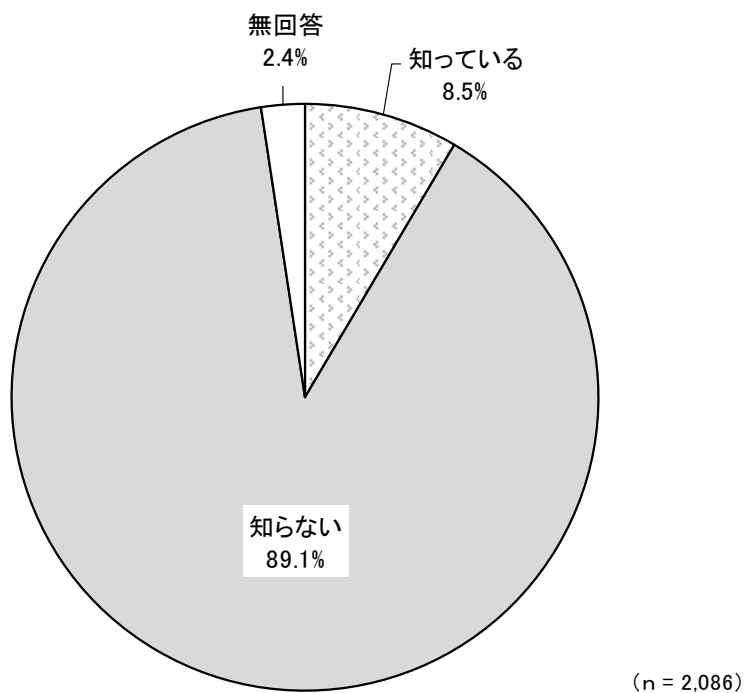
地域別にみると、「いる」は玉川南部で9割近く、玉川北部で8割を超えている。「いない」は玉川西部で3割を超えている。(図9-2-3)

### (3) 「世田谷版ネウボラ」の認知度

◎世田谷版ネウボラを「知らない」がほぼ9割

問23 あなたは、「世田谷版ネウボラ」という、妊娠期から就学前までの乳幼児を育てているご家庭を切れ目なく支えるため、医療機関や地域の支援の担い手と連携して相談支援していく取り組みを行っていることを知っていますか。(○は1つ)

図9-3-1

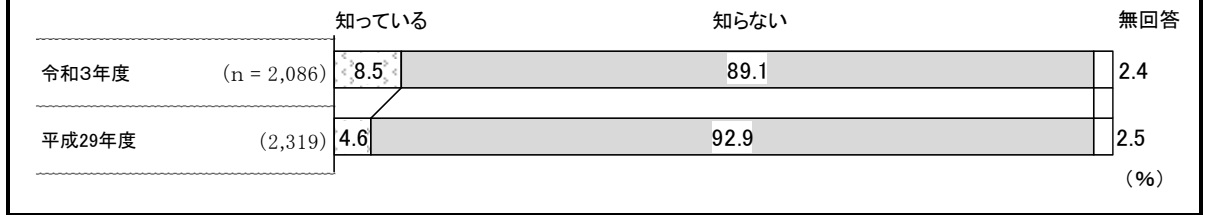


#### <調査結果>

「世田谷版ネウボラ」の認知度を聞いたところ、「知っている」(8.5%)が1割に満たず、「知らない」(89.1%)がほぼ9割となっている。(図9-3-1)



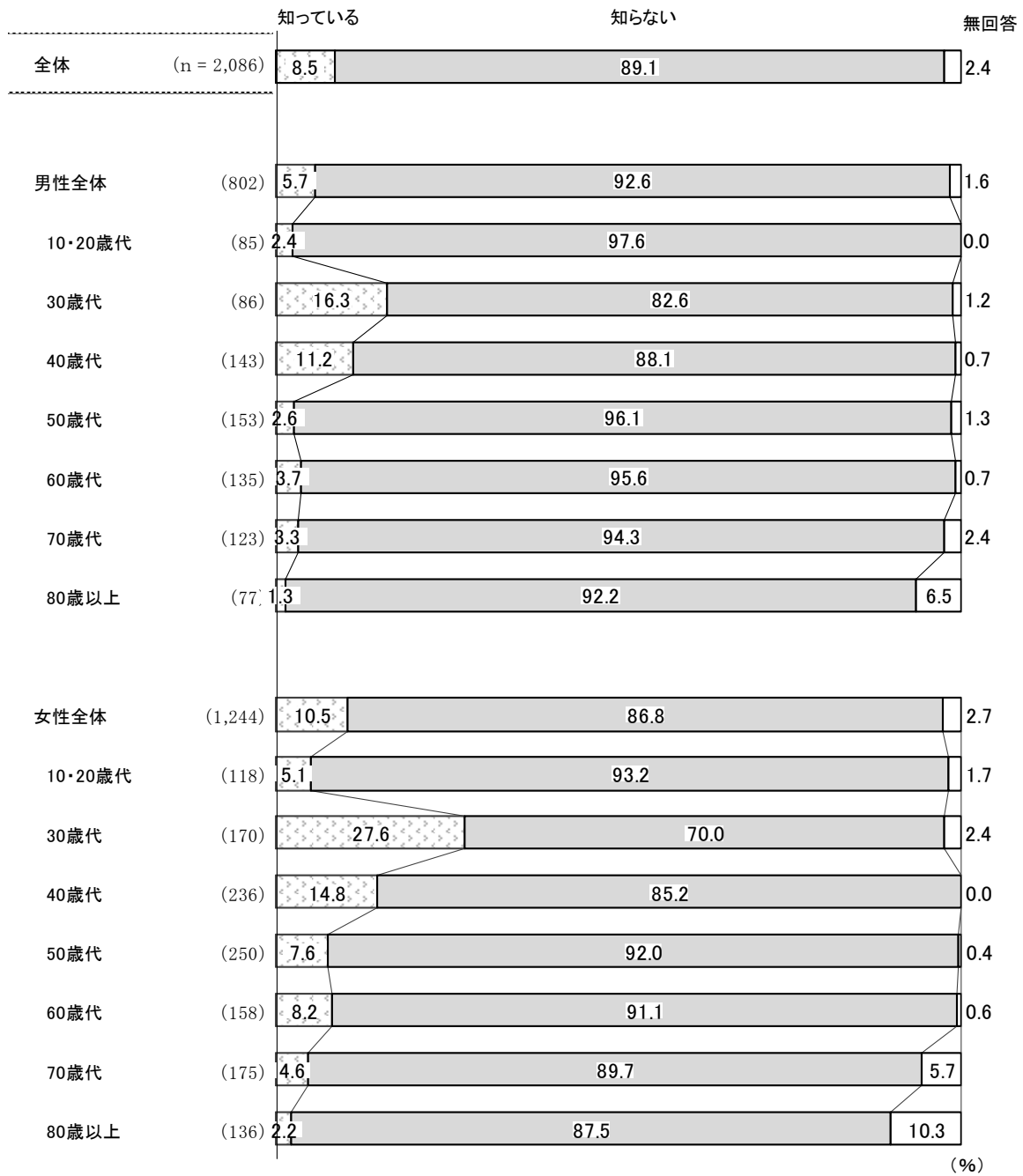
図 9-3-2 「世田谷版ネウボラ」の認知度（時系列）



<調査結果>

平成 29 年度からの時系列の変化をみると、「知っている」は平成 29 年度（4.6%）から令和 3 年度（8.5%）でわずかに増加している。（図 9-3-2）

図9-3-3 「世田谷版ネウボラ」の認知度（性・年齢別）



<調査結果>

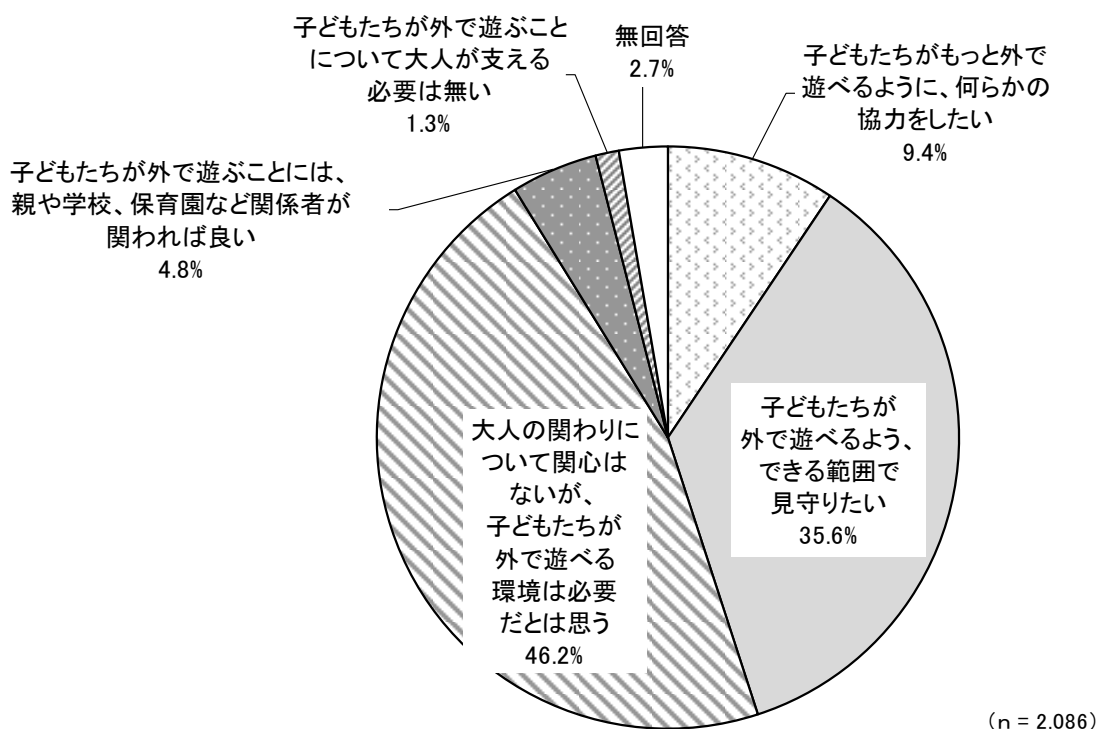
性・年齢別にみると、「知っている」は、30歳代が男女とも他の年代に比べ高く、女性が3割近く、男性が1割半ばとなっている。その他の年代は、女性の40歳代が1割半ば、男性の40歳代が1割を超えるにとどまっている。(図9-3-3)

#### (4) 子どもの外遊びへの大人の関わりについて

◎「大人の関わりについて関心はないが、子どもたちが外で遊べる環境は必要だとは思う」が4割半ば、「子どもたちが外で遊べるよう、できる範囲で見守りたい」が3割半ば

問24 近所の子どもたちが外で遊ぶことへの大人の関わりについて、あなたの気持ちに最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

図9-4-1

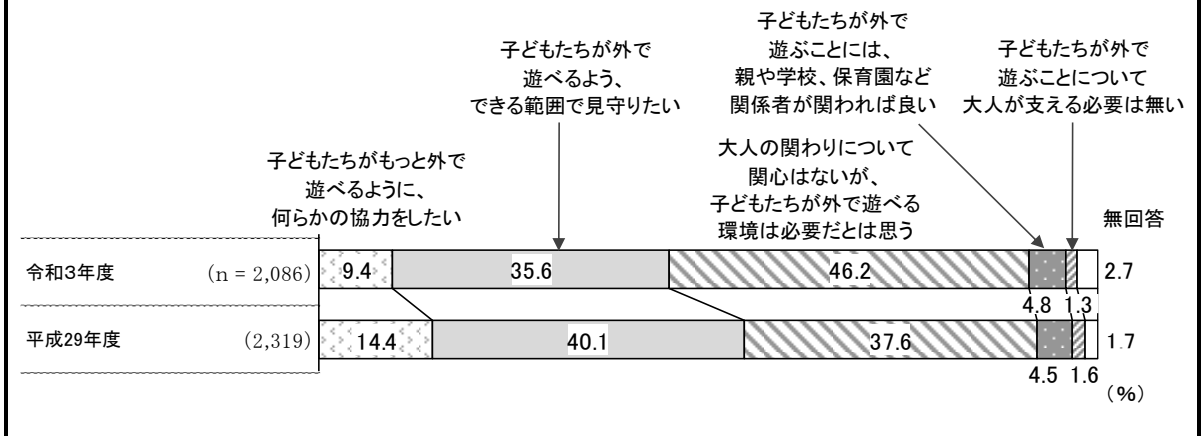


#### <調査結果>

子どもの外遊びへの大人の関わりについて聞いたところ、「大人の関わりについて関心はないが、子どもたちが外で遊べる環境は必要だとは思う」(46.2%)が4割半ば、次いで、「子どもたちが外で遊べるよう、できる範囲で見守りたい」(35.6%)が3割半ばと高い。「子どもたちがもっと外で遊べるように、何らかの協力をしたい」(9.4%)はほぼ1割となっている。

(図9-4-1)

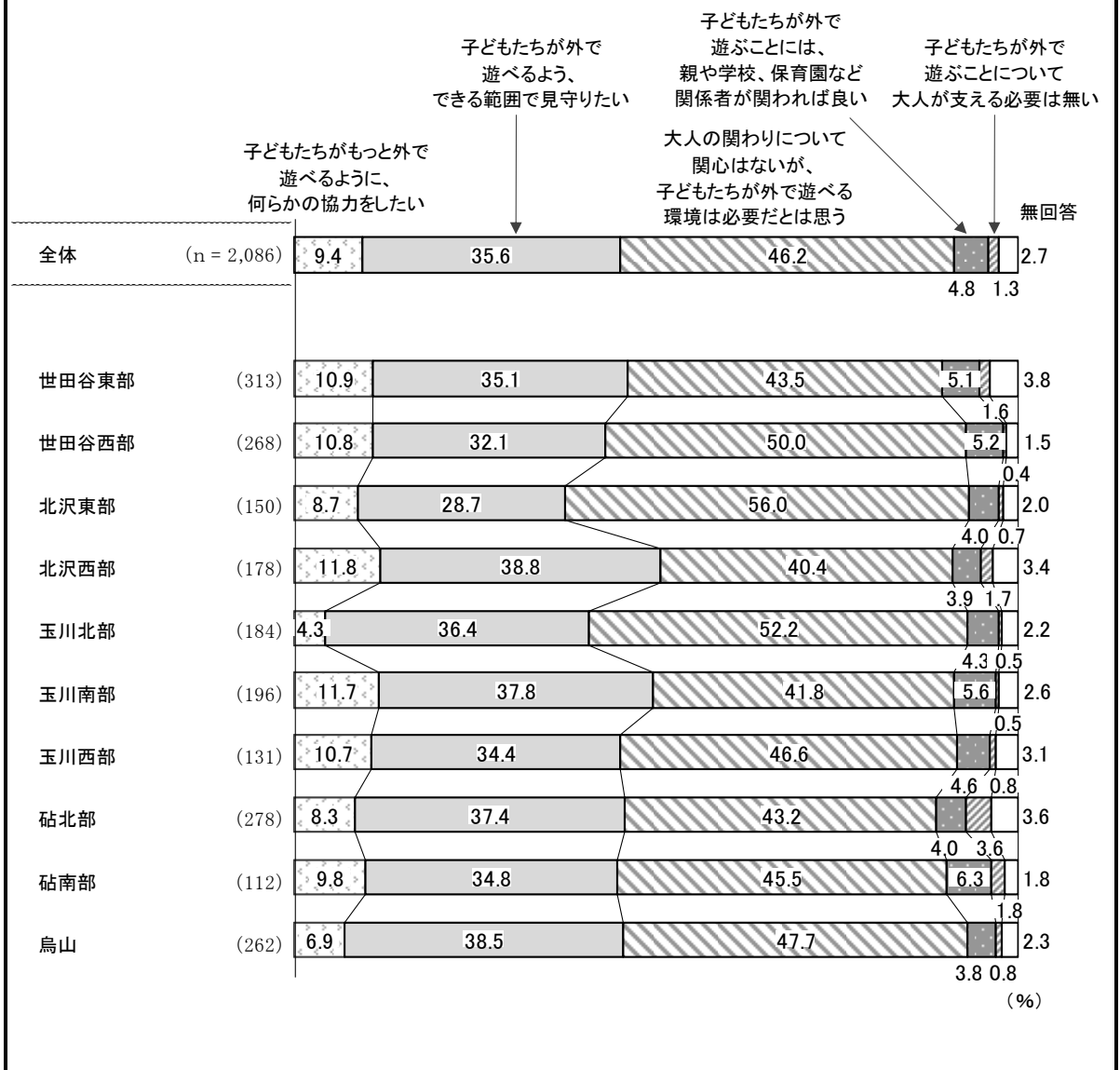
図 9-4-2 子どもの外遊びへの大人の関わりについて（時系列）



<調査結果>

平成 29 年度からの時系列の変化をみると、「大人の関わりについて関心はないが、子どもたちが外で遊べる環境は必要だとは思う」は平成 29 年度（37.6%）から令和 3 年度（46.2%）で増加している。「子どもたちが外で遊べるよう、できる範囲で見守りたい」は平成 29 年度（40.1%）から令和 3 年度（35.6%）でわずかに減少している。（図 9-4-2）

図9-4-3 子どもの外遊びへの大人の関わりについて（地域別）



<調査結果>

地域別にみると、「大人の関わりについて関心はないが、子どもたちが外で遊べる環境は必要だとは思う」は北沢東部で5割半ば、玉川北部で5割を超え、世田谷西部で5割、「子どもたちが外で遊べるよう、できる範囲で見守りたい」は北沢西部、玉川南部、砧北部、烏山で4割近くとなっている。(図9-4-3)